



質問

地元に帰りたくなる流れを

町長

在学中から繋がることが重要

落合 孝行 議員



若者がまた帰りたくなる繋がり

質問

奥出雲町の人口は、2015年から2024年までのこの10年間で2500人近くが減少し、5年後には10000人を切っているという推計が出ている。改めて奥出雲町としては何が人口減少の要因になっていると認識しているか。

町長

自然減については、亡くなる人が増え、出生数が減っている。社会減については、就職等による転出が最も多く、大学等への進学や大学等を卒業後に就職により転出しており、依然として都市部への流出は増え続けている。

質問

高校卒業後にも転出した学生や若者に特化した情報提供などの手だてがある、さらに切れ目のない繋がりがつくれるのでは。

町長

ほとんどの若者が進学や就職を機に町外に転出をするため、町との繋がりが一旦切れてしまうことが課題。高校入学時には「おくいずも未来サポーター制度」への登録、高校卒業時には町の公式LINEの登録をしてもらっている。卒業後にも奥出雲町を

質問

転出した若者が学んだスキル等を生かして町内企業や地域の課題に関わる、口施策があるのと帰って来なくなるのでは。

質問

転出した若者が学んだスキル等を生かして町内企業や地域の課題に関わる、口施策があるのと帰って来なくなるのでは。

町長

令和6年度から「おくいずも未来サポーター制度」を創設し、どこに住んでいても奥出雲町を



おくいずも未来サポーター

業後にも町との継続的な繋がりをつくるためには、在学中から町と繋がるのが重要である。

応援したい方や関わりたい方が登録できるようにになった。現在の登録者数は234名で、町外に120名いる。今年度から奥出雲町の雇用対策協議会を立ち上げ、町内企業の情報や求人情報、町の関わりしろ等の情報提供もしながら、町内企業への就職や地域課題の解決を目的とした起業等、若者が奥出雲町へUターンするきっかけとなる情報も発信していきたい。